

## コスト上昇に対する価格転嫁が進まず収益が悪化

日銀の利上げによる経済活動への影響が懸念され先行き不透明

～景況DI値は、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス31.5～

\*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

### 1. 7月鳥取県内の中小企業景況

**売上（受注）高** 製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のマイナス26.3。非製造業では、前月比47.3ポイント上昇のプラス15.7、前年同月比36.7ポイント上昇のプラス5.2。

**販売（受注）価格** 製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0。非製造業では、DI値前月比15.8ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のプラス26.3。

**収益状況** 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比36.8ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス10.5。

**資金繰り** 製造業では、DI値前月比15.7ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス10.5。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5。

**雇用人員** 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比15.7ポイント上昇のマイナス10.6。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比21.0ポイント上昇のプラス5.2。

**景況** 製造業では、DI値前月比15.8ポイント低下のマイナス31.6、前年同月比15.7ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比31.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス26.3。

**県内中小企業の景況は**、全業種景況DI値は、前月比8.6ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス31.5となった。製造業では、原材料、光熱費等の高止まりが継続しているうえ、収益確保に向けた価格転嫁も困難な状況が続いている。非製造業では、7月中旬以降好天が続き、各地区の商店街では土曜夜市が開催され、多くの来街者で賑わいをみせた。一部の業種で価格転嫁が進み販売価格は上昇、売上高も増加となったものの、依然として物価高騰による経費負担の増加、消費マインドの低下が続いている。県内景況は、全業種で原材料、エネルギー価格の高騰や人件費の上昇などコストの上昇に対する価格転嫁が進まず収益の悪化が続いており、業況は厳しい。また、多くの業種で人手不足が深刻化しているほか、日銀の利上げによる今後の経済活動への影響が懸念されるなど先行き不透明な状況が続いている。

## 2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

7月の全国倒産は、件数920件で、（前年同月701件、31.2%増）と、27カ月連続で前年同月を上回った。7月としては、2013年（952件）以来、11年ぶりに900件を超えた。負債総額は7769億3100万円（前年同月1804億7000万円、330.5%増）と、5カ月ぶりに前年同月を上回った。

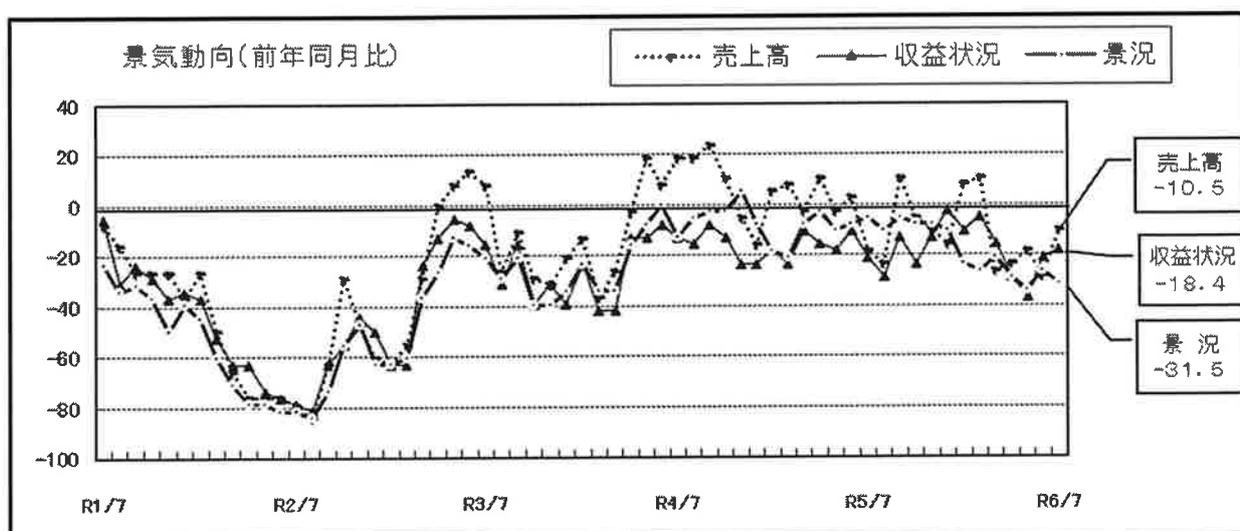
一方、7月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数5件（前月4件）、負債総額は4億5600万円（前月5億300万円）であった。

## 3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報6月分」）

鳥取県の6月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.22倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.23倍）で、前月より0.06ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.05倍、米子所1.30倍、倉吉所1.19倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.36倍（季節調整値）で、前月より0.06ポイント上回った。

新規求人数は、前年同月比14.8%減少し、有効求人数も10.7%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、卸売業・小売業（12.0%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.2%減少、有効求職者数は前年同月比4.6%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は0.98倍で、前年同月比で0.22ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ11.0%減少した。



## 7月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	26.3%	15.8%	10.5 5.2	36.8%	21.1%	15.7 47.3	31.6%	18.4%	13.2 26.3
(2)在庫数量	21.1%	0.0%	21.1 26.3	8.3%	8.3%	0.0 8.3	16.1%	3.2%	12.9 19.4
(3)販売価格	10.5%	5.3%	5.2 5.2	10.5%	10.5%	0.0 -15.8	10.5%	7.9%	2.6 -5.3
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 5.3	0.0%	0.0%	0.0 5.3	0.0%	0.0%	0.0 5.3
(5)収益状況	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3	21.1%	5.3%	15.8 36.8	15.8%	10.5%	5.3 15.8
(6)資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 -15.7	5.3%	5.3%	0.0 15.8	5.3%	10.5%	-5.2 0.0
(7)設備操業度	10.5%	15.8%	-5.3 -10.6						
(8)雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 -10.5	5.3%	5.3%	0.0 10.5	5.3%	7.9%	-2.6 0.0
(9)景況	0.0%	31.6%	-31.6 -15.8	15.8%	15.8%	0.0 31.5	7.9%	23.7%	-15.8 8.6

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	10.5%	36.8%	-26.3 0.0	36.8%	31.6%	5.2 36.7	23.7%	34.2%	-10.5 18.4
(2)在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 5.2	0.0%	8.3%	-8.3 0.1	6.5%	6.5%	0.0 3.2
(3)販売価格	15.8%	15.8%	0.0 5.3	42.1%	15.8%	26.3 -5.3	28.9%	15.8%	13.1 0.0
(4)取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	2.6%	13.2%	-10.6 -5.4
(5)収益状況	10.5%	36.8%	-26.3 -5.3	15.8%	26.3%	-10.5 10.5	13.2%	31.6%	-18.4 2.6
(6)資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 10.6	5.3%	15.8%	-10.5 5.3
(7)設備操業度	5.3%	26.3%	-21.0 -15.7						
(8)雇用人員	10.5%	21.1%	-10.6 15.7	10.5%	5.3%	5.2 21.0	10.5%	13.2%	-2.7 18.3
(9)景況	0.0%	36.8%	-36.8 -15.7	10.5%	36.8%	-26.3 5.3	5.3%	36.8%	-31.5 -5.2

\*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

\*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

#### 4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

### 製造業

#### 【食料品】

一般食料品⇒ LP ガス、電気代は高止まりとなっているが、「エッグショック」も収まり、生産は順調に推移している。また、輸出を行っている企業は好調である。

醤油 ⇒ 7月 は全国的に猛暑日、集中豪雨が続いたが、業界の景況に特に影響はなかった。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少となった。

#### 【繊維工業】

繊維製品 ⇒ 人件費上昇や物価高騰の影響への対応として加工単価について価格転嫁を図りたいが、発注元の理解は得られにくい状況が続いている。供給過剰が続いており、製品価格の下落が懸念される。

ニット製品 ⇒ 衣料品消費は百貨店でのインバウンド需要、酷暑による一部機能商品に動きはあるものの、依然として供給過剰によるデフレ状態が継続しており、秋物の受注の動きも鈍い。

#### 【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。売上高は前月比で増加、前年同月比は減少で推移、収益状況は前月比、前年同月比ともに悪化となった。

#### 【木材・木製品】

製材品 ⇒ 製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに減少となった。製材品の生産量は前月比で増加、前年同月比で同水準となった。需要を見込んだ仕入れを行うも、需要の低迷により在庫が増え厳しい状況。秋の需要に期待したいが、注文戸建ての棟数が減少傾向となっており先行きは不透明なままである。プレカット加工の稼働率は前月比45%増加、前年同月比は15%減少で推移した。

#### 【紙・加工品】

和紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。引き続き業況は厳しい。

#### 【印刷】

⇒ 慣例的な印刷需要の減少とデジタル化の進行が続いている。例月に比べ見積もりが多く発生したものの、夏期は年間を通じての収益の波が大きいことが課題となっている。新技術の導入と、市場ニーズに応じた柔軟な対応が求められているうえ、デジタルスタンプラリーなどの新サービスに関する要望増加に対する技術力と創造力が業界内で必要とされている。

#### 【窯業・土石製品】

生コン ⇒ 7月の生コン出荷量は、前月比で約3%減少、前年同月比で同水準となった。東部地区では昨年夏の豪雨被害への災害復旧工事案件が増えつつあるが、少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見合っていない。中部地区では前年割れが続き低調に推移しているが、来月は前年程度の受注確保の兆しがある。西部地区では受注は年度当初低調であったが徐々に上向き傾向に

あり、年内いっぱいには堅調に推移する見込みである。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

### 【金属製品】

**金属加工**⇒ 建築関係は、県内物件は現状少なくなっている。西部地区では仕事を確保出来ている会社もあるが、特に東部地区は物件が少ない。価格転嫁も困難で、安値での競争により採算は悪化している。今後の物件も少なく、厳しい状況が続いている。機械加工は、自動機関連の受注が堅調。自動車関連の受注に動きが出てきたが、相次ぐ不正による生産停止の影響が不安要素となっている。工作機械関係は相変わらず厳しい状況が続いている。人件費や諸経費の物価高騰が続いており、価格転嫁どころか低価格競争により、採算は益々厳しくなっている。

**鉄骨加工**⇒ 人件費、運送代、溶接材料代、燃料代等高騰に対する価格転嫁は追いついていない。全県として物件数が少なく単価が下降傾向にある。

**金属熱処理**⇒ 前月比はで15%程度の受注増となったが、全体に受注が活発化したのではなく、特定の付加価値の高い処理依頼品の受注が多かったことによる受注増であった。昨年同月比は3%程度の増加となった。見積品の数量は増えつつあるため、受注量増加に期待が持たれる。

### 【電気機械器具】

⇒ 中国経済の低迷に伴い製造も低迷が続いている。国内向け需要も在庫調整が続き厳しい状況となっている。部材調達は順調であるものの、先行きの見通しがこの時期になっても不透明なままである。国内向け半導体装置部品やパソコンといった一部に製品は順調に推移しているものの、先行きは不透明で回復の兆しが見えない。人員不足が依然続いているうえ、収益は原価の負担増のため厳しい。

## 非製造業

### 【卸売業】

**東部地区**⇒ 青果関係では、前月比では取扱数量、売上高ともに減少となったが、前年同月比では取扱数量、売上高ともに増加となった。鮮魚関係では、前月比では取扱数量、売上高はともに減少、前年同月比は取扱数量、売上高ともに増加した。資材等の高騰により月を追うごとに値上げが続いている。業績は好調であっても人材不足に苦慮している。

**中部地区**⇒ 2025年10月にはWindows10のサポート切れも控えていることから民間のOA機器販売がすこしずつ動いてきているが、官公庁の入札物件は相変わらず少ない。令和5年度末も今までになく物件が少なかったこともあり、先行きは不透明なままである。

**西部地区**⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇及び人件費の上昇が懸念されている。日銀の利上げによる今後の影響が危惧されている。

**水産物**⇒ 7月の巻き網は例年水揚げのあるアジ、イワシ類の不漁に加え、全般に時化模様の日が多く総水揚げ量も昨年の半分程度にとどまり、好調であったマグ

口漁も6月ではほぼ漁獲枠を消化、紅ズワイ漁、底引き漁も休漁期となり、スルメ、白いか漁も不漁が続いて完全な「夏枯れ」状態となった。連日の猛暑の中、鮮魚類の販売も不振で非常に低調な月となった。

リサイクル原料⇒ ペーパーレス化により古紙が発生減となっている。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

### 【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取の商店街では、7月は鳥取本通商店街での土曜夜市・歩行者天国を7月20日より実施し、車道上での屋台出店、歌やダンス等のステージイベント、子供向けの体験型イベントを行い、毎週多くの来場者で賑わいをみせた。街区飲食店等も店前で売出しを行い、集客、売上増に繋がっている。個店の状況としては、原料高、光熱費、人件費等経費負担の増加により収益を圧迫しているうえ、消費者の財布は固く、節約志向となり消費マインドが低下している。宿泊は、観光、インバウンド等で好調を維持している。飲食は、昼間は以前より回復傾向となっているものの、まだまだ夜の団体客が少なく厳しい。多くの業種で価格転嫁を図っているものの、これ以上の値上げは客離れを起こす可能性があり、非常に厳しい状況に追い込まれている。

中部地区⇒ 倉吉の商店街では、好天が続いたものの、人出はもう一つとなった。倉吉銀座商店街では倉吉銀座通りを歩行者天国にして20日と27日の土曜日に夏恒例の『土曜夜市』を開催した。出店や打吹回廊のステージを中心にイベントを実施し、夏休みに入ったこともあり、約3,500人を超える来場者が訪れ賑わいをみせた。「銀座鉄道の夜」と銘打ったミニトレインに多くの子供たちが乗車し賑わった。

西部地区⇒ 米子の商店街では、7月20日に元町通り商店街で土曜夜市を開催した。米子市の公共事業として行った広場の屋根設置工事の披露も含めた今回の土曜夜市は5,000人を超える来場者で多くの家族連れで賑わいをみせた。

境港市の水産物小売では、7月からベニズワイガニは休漁期となり、水産物販売もほぼ閑散期に入るため、前月比、前年比とも目立った変化は見られなかった。北海道・東北からのカニが陸送で入ってくるものの、漁期中の活気は見られない。

### 【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、梅雨により悪天候であったが降雨量が少なかったこともあり観光客の入込数は増加傾向で推移した。梅雨明け後は連日の猛暑が影響し、観光客の入込数は伸びなかった。結果として売上高は前月比で同水準、前年同月比で増加した。

米子市のホテル・旅館では、7月の予約は前半が低調で推移し、宿泊者数は前年と同水準となった。夏休みに入ると皆生温泉海遊ビーチは家族連れで賑わいをみせた。原材料費、燃料費等、高騰しているものの、価格への転嫁ができていない。人材確保面では、依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、大型連休後からの客足は改善傾向にあるものの、前年比では大きく下回っている。祭りや花火で人流は増加してくるが、花火代が年々上がってきているためいつまで継続できるかが不透明な状況となっている。徐々に外国人材の採用が増えてきている。

羽合温泉では、7月の宿泊は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

円安や物価高の影響により前年同月比で販売価格が上昇、売上高も増加となった。宿泊者数は前年と変化はないが、インバウンドによる外国人が倍増している。

#### 【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて2,243台で前月比は普通車約19%、軽自動車約3%の増加、前年同月比は普通車約7%、軽自動車約9%の減少で、中古車は普通車・軽自動車を合わせて688台で前月比からの増減はなく、前年同月比は約6%の減少となった。継続検査（軽自動車を含む）は16,246台で前月比約12%増加、前年同月比0.2%の減少となった。

#### 【建設業】

⇒ 6月の県内公共工事発注(西日本建設業保証㈱保証取扱)は、請負金額92億円(前年同月比1.4%増)、件数187件(同3.9%増)となった。年度累計(令和6年4月～令和6年6月)は、請負金額295億円(前年同月比19.0%増)、件数531件(同19.1%増)となった。公共投資は3か月連続の前年同月比プラスとなった。設備投資は単月、3か月平均ともに前年同月比プラスとなった。住宅投資は単月、3か月平均ともに前年同月比マイナスとなった。資材価格が高止まりする中、住宅関係を中心に民間工事の不振が継続し、公共工事が下支えしている状況。働き方改革により人件費も増加し、コストの増加が収益を圧迫している。

6月の鳥取県新設住宅着工戸数は246戸(持家122戸、貸家124戸)で、前月比33%増加、前年同月比2%減少となった。

#### 【運輸業】

**東部地区**⇒ 7月の物流は、売上高は前月比では増加となり回復の兆しが見えるものの、前年同月比では減少となった。国内消費の伸び悩みの落ち着きや、原材料価格の転嫁も少しずつ進んでいるとみられるが、長引く燃料価格の高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。復路の空車での運行も減少傾向にあるが、慢性的なドライバー不足の問題も抱えており、今後も厳しい状況が予想される。

**西部地区**⇒ 7月の燃料価格については、為替動向の円高及び原油価格の低下により、燃料価格も低下に転じた。配車事業、燃料事業、高速事業について、受注が大幅減少したため売上の伸び悩みが続いている。さらに2024年問題に伴い各社配送距離を抑制する傾向がみられ売上の低下に拍車がかかり、大変厳しい状況となった。ドライバー不足についても大変重要視している。

### 5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・デジタル技術を活用した商品開発、市場調査のための助成金、補助金の拡充を望む【印刷業】
- ・大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・景気回復に寄与する政策を打ち出してもらいたい。【商店街】
- ・県立美術館とのコラボ企画プロジェクトへの参画を望む。【商店街】

## 最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売上高	製造業	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	10.5
	非製造業	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	36.8
	全業種	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	23.7
在庫数量	製造業	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	26.3
	非製造業	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	-8.3
	全業種	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	12.9
販売価格	製造業	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	15.8
	非製造業	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	-21.1
	全業種	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	-2.7
取引条件	製造業	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	5.2
	非製造業	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	5.3
	全業種	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	5.3
収益状況	製造業	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	15.8
	非製造業	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	63.2
	全業種	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	39.5
資金繰り	製造業	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	5.3
	非製造業	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	26.3
	全業種	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	15.9
設備操業度	製造業	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-0.1
雇用人員	製造業	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-5.2
	非製造業	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	-5.3
	全業種	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-5.2
景況	製造業	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-10.6
	非製造業	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	21.1
	全業種	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	6.1

## 最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売上高	製造業	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	15.8
	非製造業	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	-0.1
	全業種	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	7.9
在庫数量	製造業	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	26.2
	非製造業	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	-16.7
	全業種	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	9.7
販売価格	製造業	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-15.7
	非製造業	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	-26.3
	全業種	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	-21.1
取引条件	製造業	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	5.3
	非製造業	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	0.0
	全業種	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	2.6
収益状況	製造業	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	15.8
	非製造業	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	-10.5
	全業種	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	2.6
資金繰り	製造業	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	26.3
	非製造業	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	0.0
	全業種	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	13.2
設備操業度	製造業	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	10.6
雇用人員	製造業	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	5.2
	非製造業	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	10.5
	全業種	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	7.8
景況	製造業	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	0.0
	非製造業	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-52.6
	全業種	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-26.2

情報連絡員報告総括表(令和6年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製造業	食料品	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	2	0	
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	0	2	1	
	木材・木製品	2	1	1	2	2	0	0	4	0	0	4	0	1	2	1	2	1	0	4	0	0	0	1	3	0	
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	1	1	1	
	一般機器	1	1	1	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	
輸送用機器																											
その他																											
19	5	11	3	4	15	0	2	16	1	0	19	0	2	14	3	1	15	3	1	16	2	0	13	6			
100%	26.3%	57.9%	15.8%	21.1%	78.9%	0.0%	10.5%	84.2%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	68.4%	31.6%			
非製造業	卸売業	0	3	3	0	5	1	0	5	1	0	6	0	0	5	1	0	6	0	0	6	0	0	5	1		
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	商店街	3	1	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	2	2	0	0	3	1	1	3	0	1	2	1		
	サービス業	2	3	0				1	4	0	0	5	0	1	4	0	0	5	0	0	4	1	1	4	0		
	建設業	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	運輸業	1	0	1				0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	0	1		
	その他																										
	19	7	8	4	1	9	1	2	15	2	0	19	0	4	14	1	1	17	1	1	17	1	3	13	3		
	100%	36.8%	42.1%	21.1%	8.3%	75.0%	8.3%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	21.1%	73.7%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	68.4%	15.8%			
	38	12	19	7	5	24	1	4	31	3	0	38	0	6	28	4	2	32	4	2	33	3	3	26	9		
100%	31.6%	50.0%	18.4%	16.1%	77.4%	3.2%	10.5%	81.6%	7.9%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	73.7%	10.5%	84.2%	10.5%	5.3%	84.2%	10.5%	7.9%	68.4%	23.7%				

情報連絡員報告総括表(令和6年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向 (前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	
繊維工業	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	1	2	0	0	0	1	2		
木材・木製品	0	1	3	1	3	0	0	3	1	0	2	2	0	1	3	0	2	2	1	2	1	0	1	0	3		
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0		
化学工業																											
窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0		
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1		
一般機器	0	2	1	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0		
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0		
輸送用機器																											
その他																											
19	2	10	7	2	16	1	3	13	3	1	15	3	2	10	7	1	13	5	2	13	4	0	12	7			
100%	10.5%	52.6%	36.8%	10.5%	84.2%	5.3%	15.8%	68.4%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	52.6%	36.8%	5.3%	68.4%	26.3%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	63.2%	36.8%			
卸売業	2	3	1	0	5	1	2	2	2	0	6	0	1	5	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0			
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			
商店街	3	1	0	0	4	0	2	2	0	0	2	2	1	2	1	0	3	1	1	3	0	1	2	1			
サービス業	2	0	3				3	2	0	0	5	0	1	2	2	1	4	0	1	3	1	1	1	3			
建設業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1			
運輸業	0	0	2				0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2			
その他																											
19	7	6	6	0	10	1	8	8	3	0	17	2	3	11	5	1	15	3	2	16	1	2	10	7			
100%	36.8%	31.6%	31.6%	0.0%	83.3%	8.3%	42.1%	42.1%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	57.9%	26.3%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	84.2%	5.3%	10.5%	52.6%	36.8%			
38	9	16	13	2	26	2	11	21	6	1	32	5	5	21	12	2	30	6	4	29	5	2	22	14			
100%	23.7%	42.1%	34.2%	6.5%	83.9%	6.5%	28.9%	55.3%	15.8%	2.6%	84.2%	13.2%	13.2%	55.3%	31.6%	5.3%	68.4%	26.3%	10.5%	76.3%	13.2%	5.3%	57.9%	36.8%			